

第5回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

1. 日時

令和元年6月26日(水) 16:00~18:00

2. 場所

中央合同庁舎第3号館11階特別会議室(東京都千代田区)

3. 主な出席者

〈外部有識者〉	浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科教授
	井出 多加子	成蹊大学経済学部教授
	黒田 克司	公認会計士
	長沢 美智子	弁護士(座長)
〈国土交通省〉	石田 優	住宅局長
	小林 靖	大臣官房審議官
	瀬口 芳広	大臣官房審議官
〈都市再生機構〉	中島 正弘	理事長
	石渡 廣一	副理事長
	廣岡 成則	理事長代理
	伊藤 治	理事長代理

4. 議事

- (1) 第3期中期目標期間及び平成30年度における業務実績評価について
 - ①理事長ヒアリング及び自己評価について
 - ②主務大臣評価(案)について
- (2) 平成30年度退職役員に係る業績勘案率(案)について

5. 議事概要

- (1) 議事(1)①について
 - 都市再生機構(以下「機構」という。)の第3期中期目標期間及び平成30年度における業務実績の概要等について、理事長からヒアリングを行った。
 - 機構の第3期中期目標期間及び平成30年度における業務実績に係る自己評価について、機構から説明がなされ、外部有識者から質疑応答が行われた。
- (2) 議事(1)②について
 - 機構の第3期中期目標期間における業務実績に係る大臣評価(案)について、事務局(国土交通省)から説明を行い、外部有識者から意見聴取を行った結果、全項目について事務局案が適切であるとの意見で一致した。
 - 外部有識者からの主な意見は以下のとおり。
 - ・海外展開支援業務については、海外における政治的要因などリスクが高い業務であることを踏まえて今後評価する必要がある。また、機構が海外展開支援を行った結果、日本企業がどれだけ海外における事業等を受注できたかについても考慮して評価する必要がある。
 - ・地域医療福祉拠点化については、拠点形成後も引き続き質を向上させるべく取組を進めてほしい。また、質的な部分についてどのように評価するかを検討してほしい。

以上